

「両手いっぱいのお愛」新聖歌483番

1. ある日 イエスさまに聞いてみたんだ
どれくらいボクを愛してるの？
これくらいかな？ これくらいかな？
イエスさまは だまって ほほえんでる
2. もういちど イエスさまに聞いてみたんだ
どれくらいボクを愛してるの？
これくらいかな？ これくらいかな？
イエスさまは 優しく ほほえんでる

【次】

「両手いっぱいのお愛」新聖歌483番

3. ある日 イエスさまは こたえてくれた
静かに両手をひろげて
その手のひらに くぎを打たれて
十字架にかかってくださった
それは ボクの罪ため
ごめんね ありがとう イエスさま
それは ボクの罪ため
ごめんね ありがとう イエスさま
ごめんね ありがとう イエスさま

「ぼくのたからもの」

イエスさまがくれた このくちびるで

イエスさまを賛美しよう

今日もそそがれる かぎりない愛

心から 感謝ささげよう

ぼくのたからものは イエスさまを知ったこと

イエスさまといっしょに生きること

わたしのたからものは イエスさまを知ったこと

イエスさまといっしょに生きること

(1997年夏、松原湖・小学生キャンプ)

新聖歌18番 「おお御神^(みかみ)をほめまつれ」

1 おお御神を ほめまつれ 尽きぬいのち あたえんと
ひとりごをも おしみなく よびとのため くださったもう

* ほめよほめよ 神の愛を 歌え歌え 主のみわざを
そのみわざに現われし 父なる神の恵みを

2 主は贖^(あがな)い なしとげて 御名に頼る 人々の
罪はいかに 深くとも 赦しあたえ 助けたもう

* (くりかえし)

3 げにとうとき み救いよ いとくすしき み教えよ
たぐいもなき喜びは 再び主に 見^(まみ)ゆる日

* (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまひし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌202番 「一度 死にしわれをも」

- 1 一度 死にしわれをも イエスは生かしたまえり
咎(とが)と罪の代わりに 新たなるいのちあり
* 時の間(ま)をも惜しみて きみはわれと語ろう
きみはわれを放(はな)たず われはまた主にぞつく
- 2 流れ落つる涙も 肩にになう荷物も
君は知りて憐れみ 愛の御手のべ給う * (くりかえし)
- 3 うめき叫ぶ夜(よ)はなし 罪とえにし断(た)ちし身
み座に近く安らい 天つ歌 つねに聞く * (くりかえし)
- 4 病めるわれに手を置き 弱きところ強くし
まがに幸に励ます 主イエスこそ神にませ * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン